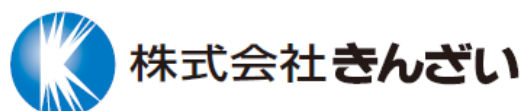


【第 14 次業種別審査事典クラウドアプリのご利用にあたって】



【定義】

第 14 次業種別審査事典クラウドアプリ（以下「本アプリ」）は、一般社団法人金融財政事情研究会（以下、「研究会」）が 2020 年 1 月に発行した「第 14 次業種別審査事典」（以下「本事典」）と実質的に同一の情報（以下「コンテンツ」）ならびにその閲覧・印刷に用いられるソフトウェアの組み合わせで構成され、研究会よりコンテンツの販売の権利を取得した株式会社きんざい（以下「当社」）が、本アプリの利用を申し込まれた契約企業の管理者ならびに管理者が指定するユーザー（以下「ユーザー等」）に対してアプリサービスを提供するものです。

【利用期間】

本アプリは、利用契約後ユーザー等が利用端末にインストールしたときから、2026 年 3 月 31 日まで使用することができます。ただし、当社は、以下のいずれかの事由が生じた場合、ユーザー等に予告なく、一時的に本アプリサービスの提供を中断することがあります。なお、当社は下記の各号のいずれかの事由により本アプリサービスの提供を中断したことでユーザー等に発生した損害についていっさい責任を負わないものとします。

- (1) 本アプリサービス提供用設備等の保守を行う場合
- (2) 停電、地震、洪水、津波、戦争、動乱その他の天変地変その他の当社の責めに帰すべからざる事由により、本アプリのサービス提供ができなくなった場合
- (3) 上記のほか、当社が運用上、技術上その他の理由により本アプリサービスの全部または一部中断が必要と判断した場合

【著作権】

本事典の著作権は、研究会に帰属します。また、本アプリのインストールには、ソフトウェアの著作権者であるアイドック株式会社が定めるソフトウェアの使用許諾契約への同意が必要です。

研究会は、本アプリのユーザー等がコンテンツを利用するに際して次の行為を行うことおよび第三者に次の行為をさせることを禁止し、これらの行為を差し止める権利、ならびにそれらの行為によってユーザー等が得た利益相当額を請求する権利を有します。

- (1) コンテンツの内容を研究会の事前の同意なく、複製もしくはその他の方法により再生、複製、送付、譲渡、頒布、転売、またはこれらの目的で使用するために保管すること
- (2) 研究会または第三者の知的財産権（著作権、意匠権、実用新案権、商標権、特許権、ノウハウが含まれるがこれに限定されない）を侵害すること
- (3) 本アプリの運営を妨げること、または研究会ならびに当社の信用を棄損すること
- (4) 本アプリの使用申込時に、虚偽の申告をすること
- (5) ログインID等の不正使用または契約端末数を超える数の端末でを使用すること
- (6) その他、研究会ならびに当社が不適切と判断すること

【本サービスの利用環境】

- (1) ユーザー等は、本サービスの利用にあたっては、アプリダウンロードページの推奨環境において動作確認したOS等の環境（以下「確認済動作環境」）で利用するものとします。
- (2) ユーザー等は、本アプリサービスを利用するために必要な通信機器、ソフトウェア、その他これらに付随して必要となるすべての機器、通信環境を、自己の費用と責任において準備し、任意の通信サービスを経由して本アプリサービスを利用するものとします。
- (3) 確認済動作環境下であっても、当社はアプリの正常な動作を保証するものではなく、通信環境の状況等により本アプリの利用ができない場合であっても、当社はいっさいの責任を負うものではありません。
- (4) OS等のアップデートにより契約時の確認済動作環境に変更が生じた場合、正常な動作が継続できなくなる可能性があります。端末のOS等のアップデートについてはユーザー等の判断において実施してください。
- (5) 当社は、事前の予告なく確認済動作環境を変更する場合があります。
- (6) 当社およびアイドック株式会社は、本アプリサービスにかかるソフトウェアのアップデートを行う場合があります。
- (7) 本アプリサービスにおいて利用可能な端末、OS等が今後利用期間中に限られる可能性があることについて、ユーザー等はあらかじめ同意するものとします。

【免責】

- (1) ユーザー等は、本アプリサービスを、ユーザー等の責任で利用するものであり、当社は、本アプリサービスの利用にあたり、ユーザー等に生じたいかなる損害に関しても、いっさい賠償その他の責任を負うものではありません。
- (2) ユーザー等は、本アプリサービスの利用に関し第三者との間で生じたいかなる問題も当該第三者との間で、処理解決するものとし、当社いっさい関与しないものとします。

また、ユーザー等が本アプリサービスの利用により第三者に対して損害を与えた場合、当該ユーザー等は自己の責任と負担において賠償するものとし、当社にいずれの責任と負担を負わせないものとします。